

府立南山城支援学校 一般にも開放



空き教室を改修してオープンしたギャラリー
(精華町山田・府立南山城支援学校)

精華町山田の府立南山城支援学校が、校内の空き教室を改修し、住民が利用できるギャラリーとして開放している。子どもたちが多彩な作品や活動に触れ、出品作家や来場者と交流できる場になっている。

空き教室をギャラリーに

同校は小学部から高等部まであり南山城地域の子どもが通う。2022年4月に井手やまぶき支援学校が開校して井手町や京田辺市などが校区から外れ、在校生の数が以前の約半分になった。生じた空き教室を活用し、地域との交流につなげようと同時期にギャラリーに改修。学校の頭文字から「Mギャラリー」と名付けた。スポットライトを設置し、ライトが映えるようカーテンを暗幕に替えるなど展示に適した空間にした。

外部作家が作品展 在校生と来場者交流

当初は在校生のみの利用だったが、今年から外部の作品展や見学も受け入れている。開場は午後1時〜2時で、来場者と交流できるよう、学校の昼休みに重なる時間帯にしている。

学校側が親交のある作家に声をかけるなどして、これまでに画用紙の立体作品の展示会などを計3回開いた。展示期間中には毎日ギャラリーに訪れる子どももあり、来場者からは「支援学校を身近に感じる事ができた」と好評だったという。

今月2日からは、木津川市や相楽郡に在住するか活動している切り絵や樹脂粘土で作ったスイーツのミニチュア作品や活動時の写真が並び、子どもたちの目を楽しませている。

(長谷川祐太)